

特集：第2回核データ・インフォーマル・ミーティングの報告

日本原子力学会の春の年会(52年4月8日, 近畿大学)において, シグマ特別専門委員会の主催で「核データ測定・評価・利用者」と題する第2回のインフォーマル・ミーティングが開催されました。この会合は, 第1回の会合の報告〔「核データニュース」№2(1977年1月), p.7〕でも触れたように, 核データの測定者, 評価者, 利用者が相互の連絡を密にする目的で学会の折に継続的に行う予定のものです。当日出席されなかった方へのためおよび今後の核データに関する討議の資料にするため, 会合の報告として本誌に, 当日講演された方々の執筆をお願いしています。今回の会合は次の次第で行われました。

座長 木村 逸郎氏(京大炉)

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. シグマ特別専門委員会事務局報告 | 更田豊治郎氏(原研) |
| 2. JENDL次期計画 | 五十嵐信一氏(原研) |
| 3. 測定研究トピックス | 小林 捷平氏(京大炉) |
| 4. 理論研究トピックス | 隈部 功氏(九大) |

最初の事務局報告の内容は, これまで「核データニュース」にとり挙げられているものが多いので割愛させていただき, 後の3件について講演内容に沿った原稿をお寄せいただきました。

(事務局編集係)